

個別医療機関ごとの 具体的な対応方針について

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

具体的な対応方針の概要①

～ 2025年に担う役割と機能別病床～

- 本圏域において策定の対象となる88医療機関（一般病床又は療養病床を有する病院・診療所）のうち、86箇所から本調査への回答協力が得られた。

2025年に担う役割と機能別病床

昨年度作成した一覧表について令和元年10月末時点までの把握した内容を更新

新たに回答：1診療所（新規開設に伴い具体的方針を策定）

内容変更：4医療機関（2病院、2診療所）

2病院については開設者と医療機関名の変更と、病床機能の変更

2診療所については開設者変更と、2019年に病床廃止へ機能を変更

着色欄：新たに回答のあった施設及び変更事項として回答のあった医療機関
赤字：昨年度の内容から変更のあった箇所

具体的対応方針の概要② ～病床が全て稼働していない病棟について～

- 本圏域において、2019年7月1日時点で昨年に続き稼働していない、もしくは回答がない医療機関は5箇所であった。
- 2019年7月1日時点で、（一部）再稼働との報告があったのは8箇所であった。

病床が全て稼働していない病棟について

- ・ 昨年度作成した一覧表について2018年7月1日時点で把握している本圏域に係る情報について内容を更新

一覧表での標記内容について

継：昨年の報告から引き続き稼働していないと回答があった医療機関

再：昨年の報告から（一部）再稼働していると回答があった医療機関

未：昨年の報告からの稼働状況について回答がなかった医療機関

具体的対応方針の変更時の報告のお願い

「地域医療構想の進め方について」（平成30年2月7日医政地発0207第1号）に基づき、毎年度、個別の医療機関における2025年における具体的対応方針について協議する必要がある。

国の求めの対応として、毎年、地域医療構想調整会議において、すでに策定いただいている各医療機関毎の具体的対応方針の内容について、整備計画変更時にご報告いただき、一覧の内容を更新していくこととしたい。

具体的対応方針の未策定、対応方針の変更、病床機能の変更を伴う施設整備に変更が生じた場合には本調査への御協力をお願いしたい。

具体的対応方針の変更等があった場合は、令和元年8月20日付け健福第758号「2025年における医療機関ごとの具体的対応方針の今後の協議の進め方及び手続き等について（依頼）」に基づき必要な手続き等をお願いします。

※千葉県ホームページから調査票(エクセル)がダウンロードできます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議

No.	医療機関名	2025年に担う役割（予定を含む）											2025年における機能別病床数				移行予定	備考	機能変更の理由等	補助金活用予定			
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	高度急性期	急性期	回復期					慢性期	計	
																						休棟等	計
27	医療法人社団長知会共立習志野台病院														60				60		11床廃止済(2018年)		
28	医療法人愛の家高根台病院															100			100				
29	医療法人社団千葉秀心会東船橋病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	48	80			128		連携強化のため、地域包括ケア病室に一部を転換する予定。		
30	医療法人吉栄会下総病院	○														50			50				
31	医療法人社団博泉会大島記念博泉病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	45				45				
32	医療法人社団協和会滝不動病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	30	21			51				
33	医療法人社団紺整会船橋整形外科病院					○	○	○	○	○	○	○	○	○	106	60			166		将来、追加で配分がある場合、220床まで増床することを検討予定		
34	医療法人社団睦会いけだ病院															48			48				
35	医療法人沖繩徳洲会千葉徳洲会病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	333	102			447				
36	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会船橋二和病院														5	81			299				
37	社会福祉法人恩賜財団済生会千葉県済生会習志野病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	96	304			400				
38	社会医療法人社団菊田会習志野第一病院														145	38			183		新棟建設中のため12床休床中		
39	医療法人社団愛友会津田沼中央総合病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	152	102	46	314		平成32年9月を目処に回復期リハビリテーション病床を14床増床する計画であり、直近では脳神経外科医と整形外科医を増強して、当院で取り扱う症例数の増加や急性期機能病院からの受入を体制強化に努めている。		○
40	医療法人社団保健会東京湾岸リハビリテーション病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		160			160				
41	医療法人社団保健会谷津保健病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	210	70			280				
42	医療法人社団碩成会島田総合病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	60	100	180		340		平成29年に地域包括ケア病床100床の配分を受け、現在60床を稼働している(既存の急性期病床60床の一部を利用することで、施設整備に先立ち地域包括ケア病床の運用を開始している)。平成33年3月までに整備完了を予定しており、それに伴い地域包括ケア病床を100床に拡充するとともに、急性期病床を60床に戻す計画である。		○
43	医療法人社団心和会新八千代病院	○														120	175		295				○
44	社団法人巨樹の会八千代リハビリテーション病院	○														240			240				
45	医療法人社団恵仁会マダガレット病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	60	255	315		315		【変更前】慢性期230(25床稼働予定)	昨年度停止を予定していた25床について、地域の需要を鑑みて再稼働することとした。	
46	医療法人恵誠会勝田台病院	○													100	48			148				

非稼働病棟（2019年7月1日時点）の今後の見通し等

【東葛南部保健医療圏】

状況 No.	医療機関名	非稼働 病棟数	病棟の 病床数	病床 種別	今後の 見込み	(対応方針未定の項目については空欄)				再稼働するための課題等					
						対応予定時期	病床 機能	入院料	診療科	人員不足		患者減少	施設老朽化	その他	備考
										医師	看護職員 その他				
【病院】															
1 継	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国府台病院	1	50	一般	再稼働	2023 年 頃	回復期								病院全体として病院構成を見直し回復期機能の病棟を稼働させたい。 【課題】予算の確保(政府予算及び補助金(基金)の獲得等)
2 継	医療法人一条会(社)一条会病院	2	11 19	一般	再稼働 未定	2019 年 4 月	慢性期	内・外・整・脳							時期を分けて病床を稼働する(30床の病棟のうち11床を2019年に再稼働予定) 【課題】救急医療体制の充実を図っているが近隣病院の救急受入体制の強化により救急搬送患者が減少、一部耐震補強が必要、病棟の整備改修(多層病棟を7707変更)
3 継	独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院	2	33	一般	-										2019.8.1より5床返還を行い455床となる。2019.8.1より病棟再編を行い56床が非稼働病床となる。病院建替えを検討しており現在の機能を維持しつつ非稼働病床を含め、急性期病棟と地域包括77病棟の再編を行う。
4 継	医療法人社団恵仁会セントマリア病院	2	37 38	一般	再稼働	2020 年 度	慢性期	内科							一般病床より療養病床へ病床種別の変更後、療養病床として稼働予定 【昨年度からの変更内容】一部廃止から全部再稼働に変更
【診療所】															
5 末	鈴木レイ・イスクリエック	1	12		未定										

注1) 「状況」欄の記載は以下のとおりとする。

継 … 昨年度の報告から引き続き稼働していないと回答があった医療機関

新 … 今年度の報告で非稼働病棟があると新たに回答があった医療機関

末 … 今年度の状況について回答がない医療機関 (※ 記載内容は昨年度の報告内容を参考として記載)

注2) 昨年度の調査時点において非稼働病棟として報告された医療機関のうち、当該病棟の全部又は一部を再稼働等した医療機関については別掲する。

非稼働病棟の解消状況等

昨年度調査時に非稼働病棟があった医療機関のうち、今年度の調査までに非稼働を解消したものを本表に別掲しています。なお、病棟の一部再稼働したものについても、病棟単位での非稼働は解消していることから併せて掲載しています。

【東葛南部保健医療圏】

状況 No.	医療機関名	非稼働 病棟数	病棟の 病床数	病床 種別	今後の 見込み	再稼働するための課題等					備考				
						対応予定時期	病床 機能	入院料	診療科	人員不足			施設老朽化	その他	
										医師		看護職員			その他
【病院】															
1	一部 安藤病院	0								○			【現状】10床の病棟のうち7床稼働 【今後の見込み】再稼働		
2	一部 医療法人社団誠警会ロイヤル病院	0								○			【現状】46床の病棟のうち35床稼働 【今後の見込み】2021年6月に救急科の一般病棟として再稼働予定		
3	一部 医療法人社団千葉秀心会東船橋病院	0								○	○		【現状】56床の病棟のうち28床稼働 【今後の見込み】2021年4月に脳外・内科の一般病棟として再稼働予定 【課題】救急受入減少、夜勤看護師不足		
4	全部 社会医療法人社団千葉勤労者医療協会船橋二和病院	0											【現状】非稼働病床なし		
5	一部 医療法人社団保健会谷津保健病院	0								○	○		【現状】耐震改修工事が完了していませんため、3病棟の一部病床(計51床)が非稼働 【今後の見込み】2019年12月に一般病棟12床、2020年12月に一般病棟29床・地域包括77病棟10床を再稼働予定		
6	全部 社会医療法人社団木下会鎌ヶ谷総合病院	0											【現状】非稼働病床なし		
7	全部 医療法人社団東邦鎌谷病院	0											【現状】非稼働病床なし		
【診療所】															
8	全部 さち子レディースクリニック	0											【現状】病床廃止し、無床診療所に転換済		

注1) 「状況」欄の記載は以下のとおりとする。

- 全部 … 今年度の報告で非稼働病床をすべて解消したと回答があった医療機関
- 一部 … 昨年度の報告で非稼働病床があると回答があった医療機関のうち、今年度の報告で非稼働病床が確認できなかった医療機関

注2) 本表に別掲された医療機関については、病棟単位での非稼働が解消していることから、次回以降の会議資料からは削除する。